



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年11月5日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774)44-4923  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,706	4.4	297	4.5	285	△3.1	207	△3.5
30年3月期第2四半期	2,593	4.1	284	23.6	295	21.2	214	25.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	12.50	—
30年3月期第2四半期	12.67	—

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	7,840	6,251	79.7
30年3月期	9,364	7,144	76.3

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,251百万円 30年3月期 7,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成31年3月期の業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	4.0	1,206	△8.3	1,227	△8.4	861	△11.3	51.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年3月期2Q	18,590,760株	30年3月期	18,590,760株
31年3月期2Q	2,307,529株	30年3月期	1,752,803株
31年3月期2Q	16,559,252株	30年3月期2Q	16,941,446株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資の増加、所得・雇用環境の改善を背景に、個人消費にも持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」を中心としたトイレタリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収により増加いたしました。引き続き原価管理の見直し等を行っていることから、売上原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費等の増加により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,706百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は297百万円（前年同四半期比4.5%増）、経常利益は285百万円（前年同四半期比3.1%減）、四半期純利益は207百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

なお、当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	1,782	68.8	1,883	69.6	100	5.7
整髪料	427	16.5	436	16.1	9	2.2
カラー剤	176	6.8	167	6.2	△9	△5.2
育毛剤	99	3.8	100	3.7	0	0.8
パーマ剤	50	1.9	59	2.2	9	19.1
その他	57	2.2	58	2.2	1	2.7
合計	2,593	100.0	2,706	100.0	112	4.4

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から1,524百万円減少し、7,840百万円となりました。

主な要因としては、現金及び預金が1,029百万円、受取手形及び売掛金が686百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から631百万円減少し、1,588百万円となりました。

主な要因としては、未払金が395百万円、未払法人税等が235百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から892百万円減少し、6,251百万円となりました。

主な要因としては、自己株式が824百万円増加し、利益剰余金が68百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、79.7%（前事業年度76.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末より529百万円減少し、1,436百万円（前年同四半期比511百万円増）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、89百万円（前年同四半期比124百万円減）となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益285百万円及び売上債権の減少686百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加271百万円、法人税等の支払いによる支出295百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、480百万円（前年同四半期比859百万円増）となりました。

収入の主な要因としては、定期預金の払戻による収入500百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,099百万円（前年同四半期比227百万円増）となりました。

支出の主な要因としては、自己株式取得による支出824百万円及び配当金の支払いによる支出274百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウエイトが大きく、第2四半期における利益額の構成比率は小さくなっております。

第3四半期以降につきましては、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催しており、「コタ アイ ケア」を中心としたトイレタリーの需要増加を見込む一方で、人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加を見込んでいることから、平成30年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,966,133	2,936,960
受取手形及び売掛金	1,306,302	619,686
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	457,050	680,450
仕掛品	15,228	24,368
原材料及び貯蔵品	141,132	179,893
その他	22,628	47,861
貸倒引当金	△29	—
流動資産合計	5,958,445	4,539,221
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,161,877	1,123,537
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	171,658	147,562
有形固定資産合計	2,492,442	2,430,006
無形固定資産	198,179	171,823
投資その他の資産	715,375	699,101
固定資産合計	3,405,998	3,300,930
資産合計	9,364,443	7,840,152
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	127,963	140,916
未払金	476,817	80,919
未払法人税等	319,000	83,300
賞与引当金	195,877	172,497
役員賞与引当金	—	13,270
販売奨励引当金	40,982	124,393
その他	233,088	203,337
流動負債合計	1,393,729	818,633
固定負債		
退職給付引当金	78,486	105,851
役員退職慰労引当金	575,680	487,646
資産除去債務	41,542	41,593
長期預り保証金	130,228	134,533
固定負債合計	825,936	769,624
負債合計	2,219,666	1,588,258
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,853	330,854
利益剰余金	7,867,613	7,799,126
自己株式	△1,442,429	△2,266,949
株主資本合計	7,143,836	6,250,831
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	940	1,062
評価・換算差額等合計	940	1,062
純資産合計	7,144,777	6,251,894
負債純資産合計	9,364,443	7,840,152

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,593,503	2,706,405
売上原価	693,316	701,178
売上総利益	1,900,187	2,005,226
販売費及び一般管理費	1,615,625	1,707,960
営業利益	284,561	297,266
営業外収益		
受取利息	1,444	1,372
受取配当金	991	992
受取賃貸料	3,076	3,296
業務受託料	4,800	4,800
その他	2,126	2,171
営業外収益合計	12,438	12,632
営業外費用		
貸貸費用	1,187	728
支払手数料	—	22,997
その他	619	204
営業外費用合計	1,807	23,930
経常利益	295,192	285,967
税引前四半期純利益	295,192	285,967
法人税、住民税及び事業税	112,167	65,974
法人税等調整額	△31,622	12,949
法人税等合計	80,545	78,924
四半期純利益	214,647	207,043

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	295,192	285,967
減価償却費	104,658	101,962
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△29
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,623	△23,380
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	14,028	13,270
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30,748	27,365
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19,236	△88,033
その他の引当金の増減額(△は減少)	78,981	83,411
受取利息及び受取配当金	△2,435	△2,364
売上債権の増減額(△は増加)	632,898	686,615
たな卸資産の増減額(△は増加)	△189,663	△271,301
仕入債務の増減額(△は減少)	13,517	12,952
その他	△455,007	△443,300
小計	517,532	383,134
利息及び配当金の受取額	1,508	1,512
法人税等の支払額	△304,927	△295,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	214,114	89,538
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300,000	—
定期預金の払戻による収入	—	500,000
有形固定資産の取得による支出	△62,673	△17,239
無形固定資産の取得による支出	—	△2,739
その他	△16,121	668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378,794	480,689
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△613,593	△824,519
自己株式の売却による収入	102	1
配当金の支払額	△258,858	△274,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	△872,349	△1,099,400
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,037,029	△529,172
現金及び現金同等物の期首残高	1,962,697	1,966,133
現金及び現金同等物の四半期末残高	925,668	1,436,960



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式550,000株の取得を行っております。この取得等により、当第2四半期累計期間において、自己株式が824百万円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が2,266百万円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。